河北中央病院 広報誌49

はばたき



■理念:地域に密着した医療を提供し、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。



■目次

- *河北中央病院消化器内科 内視鏡診断・治療の充実(P1~P2)
- *院内感染対策の徹底(P3~P4)
- *ケア NEWS(P5)
- *職員のお話「職員リレー」・新入職員紹介・ご寄附ありがとう(P6)
- *連携医療機関のご紹介(裏表紙)

編集・発行/河北中央病院 広報アピール委員会 〒929-0323 石川県河北郡津幡町字津幡ロ 51 番地 2 E-mail: hospital@kahoku-hp. jp 発行月/令和3年2月 TEL 076-289-2117 (代) FAX 076-289-5462 ホームページ: http://kahoku-hp.jp/

河北中央病院消化器内科内視鏡診断・治療の充実

最新式の内視鏡を導入

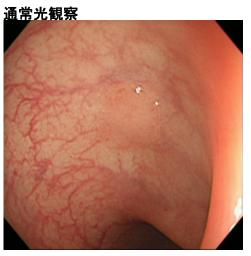
当科では、食道、胃、大腸における早期がんの診断・発見に全力をあげて取り組んでいます。

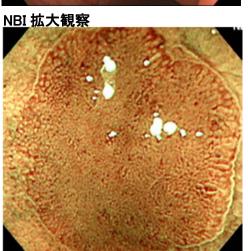
昨年10月に新たに最新式の上部下部消化管内視鏡および胆膵内視鏡を導入しました。これにより当院でも拡大内視鏡による診断精度の高い検査および 消化管癌、胆膵疾患に対する治療が可能となりました。

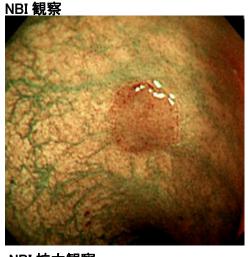
NBI 併用拡大内視鏡検査

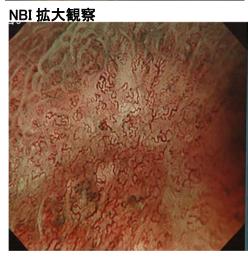
NBI 拡大内視鏡とは、レンズのズーム機能と狭帯域光観察(NBI: narrow band imaging)という特殊な光を併用して、粘膜内の模様・血管の太さ・血管不整を観察することで、通常内視鏡よりさらに正確な診断を得る検査法です。消化管の病変に対して行われる検査で、これにより小さながんを発見できる確率が大幅に上がることに加えて、病変の広がりや深さを見極めることができます。

早期がんの場合は、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を用いて治療を行います。従来では内視鏡治療が困難であった病変でも、最新の器具および技術により病変を一括して摘出することが可能です。









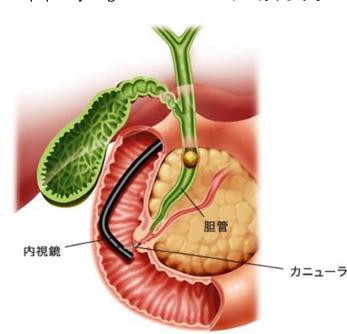
内視鏡的胆管膵管(ERCP)関連手技·治療

内視鏡的総胆管結石除去術や悪性胆管狭窄に対するステント治療を開始しました。

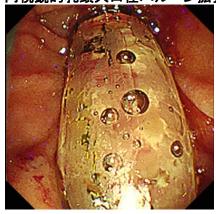
1. 総胆管結石に対する内視鏡治療

内視鏡を口から挿入して、胃、十二指腸を通り抜けたあと、十二指腸乳頭(胆管の出口)を切開または拡張し、専用の器具で胆管内の結石を取り除く治療です。

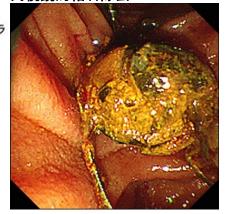
胆管の出口を拡げる方法として、内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST: endoscopic sphincterotomy)、内視鏡的乳頭大口径バルーン拡張術(EPLBD: Endoscopic papillary large-balloon dilation)があります。



内視鏡的乳頭大口径バルーン拡張術



内視鏡的結石除去



2. 内視鏡的胆管内ステント留置術

胆管癌や膵癌などにより、胆管や膵管が狭窄し、胆汁の流れが悪くなると、黄疸や感染を生じ、放置した場合は生命に危険な状態となるため、胆管内にステントという管を入れて、胆汁の流れを良くする治療が内視鏡的ステント留置術です。ステント治療後に引き続き手術治療や化学療法を行います。

前任地では年間100例前後の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)治療、年間250 例前後の内視鏡的胆管膵管(ERCP)関連手技・治療を経験してきました。これまで の経験を活かして地域医療に貢献できるよう努力していく所存です。

当院ではできるだけ苦痛が少なく診断精度の高い検査を行い、安心して検査・治療を受けていただけるように心がけています。どうぞお気軽にご相談ください。

院内感染対策の徹底



お体の調子が悪いとき、受診をためらっていませんか。

当院では受診者を感染症から守るため、院内感染対策委員会を設置し、院内感染防止指針とマニュアルに基づき、様々な対策を講じています。

来院される皆さまは、マスクの着用、検温、手洗い、ソーシャルディスタンス等の徹底にご協力ください。

一人ひとりができることを行い、引き続き、安全・安心な医療を提供し続けられるよう取り組んでまいります。

発熱外来の開設



昨年11月に「発熱外来」を開設 しました。

発熱、咳、倦怠感などの症状 がある場合は、一般診察室で は診療せず、発熱外来診察で 対応します。

ドライブスルー PCR検査の実施



新型コロナウイルス対策として ドライブスルーによる PCR 検 査を実施しています。

車に乗ったまま検査を受ける ことができます。

サーモグラフィー検温 の実施



津幡町により、いち早く導入されたサーモグラフィー検温機。 瞬時に多人数の体温を感知でき、37.5℃以上の体温を感知するとアラームで知らせてくれます。37.5℃以上の方は、再度、温度計による検温を行っています。

発熱がある方は発熱外来へご 案内します。

全館 自動水栓へ改修



トイレや病室、診察室などの水 道の蛇口を自動水栓に改修し ました。直接触れることがない ため、安心してご使用いただ けます。

低濃度オゾン装置 の設置



空気洗浄を行うため、発生する低濃度オゾンが菌や臭気成分、ウイルスを酸化分解するといわれる装置を発熱外来等に設置しました。オゾンは、水や空気等の汚れや臭いに抗するため、浄水場をはじめ多くの場面で活用されています。

高濃度オゾン装置 の設置



病室や発熱外来等の個室空間 を消毒するため、高濃度オゾン 発生装置を設置しました。



簡易陰圧装置の設置



病室に簡易陰圧装置を設置しました。室内空気を HEPA フィルタで処理後に 屋外に排気し、病室内を陰 圧(負圧)にすることにり、空気感染、飛沫感染の 可能性がある病原体など が室外に漏洩することを抑 制します。

オンライン面会の実施

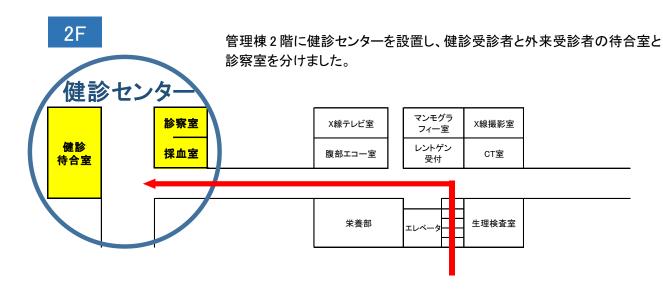
院内感染防止対策のため、面会できない状態が続いており、大変ご不便をおかけしています。

そこで、タブレットによる画面越しとなりますが、お顔を見ながらお話をしていただけるオンライン面会を実施しています。

ぜひ、ご活用ください。

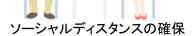


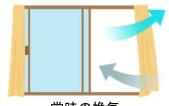
健診センターの設置



皆さまにもご協力いただいている対策







常時の換気

津幡町からのお知らせ

● 高齢者へのPCR検査費用を助成します ●

津幡町では、新型コロナウイルスに対する高齢者の不安を軽減するため、本人希望による検査費用の一部を助成します。

対象者: 津幡町に住民票があり、65 才以上で、発

熱、咳、のどの痛み等がない方 (施設等の入所者は除く)

実施期間: 令和3年3月26日(金)まで

回 数: 一人一回限り

自己負担金 : 8,000 円

申込方法: 必ずお電話でのご予約が必要です。

申 込 先: 津幡町役場 健康推進課 電話 288-7926



患者さまの生活に寄り添い、在宅生活を継続できるよう、全力でバックアップします!

「オムツフィッター1級」 副看護部長 山下昭美

自分らしい生活を送ることができるように。

「オムツフィッター」聞くと、「オムツを上手にあてることができる人」とイメージする方が多いと思いますが、「オムツフィッター」とは、単にオムツの専門家ではありません。

排泄に関する様々な知識や視点を持ち、排泄に関わる困りごとについて、医療や住環境、食事、姿勢、福祉用具などの幅広い視点から 人の暮らしを支える排泄ケアを考えることができるスタッフです。

当院では、「おむつフィッター1級」という専門知識を持った看護師が常勤し、その指導の下で患者さまの一人ひとりの状態に合わせたオムツ選びや排泄の困りごとの解消について実践しています。



「日本糖尿病療養指導士 | 副看護師長 高田智江 · 主任看護師 板井順子

チームで糖尿病療養を支援します。

生活習慣病の代表格である糖尿病。その患者数は、生活習慣や社会環境の変化に伴い、年々増加しています。糖尿病を治療するには、食事療法を基本とした患者さまの自己管理がもっとも大切です.

「日本糖尿病療養指導士」とは、糖尿病等その療養指導全般に関する専門知識を持ち、患者様の生活を理解し、適切な自己管理や療養を指導するスタッフです。

当院では、日本糖尿病療養指導士が中心となって、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士がチームとなり、患者さまの生活をサポートしています。



**
生活指導を行う 高田看護師

フットケアを行う板井看護師



information

津幡町介護用品支給サービス券の 町内指定店です

当院内のコンビニ「ヤマザキ Y ショップ」では、津幡町が高齢者の在宅生活の支援を目的に支給する「介護用品支給サービス券」を取り扱っています。

対象介護用品の紙おむつや介護用下着等をご購入いただけます。

サービス券の対象者や対象商品等の詳細につきましては、津幡町役場福祉課までお問い合わせください。

問合先:津幡町役場福祉課 電話 288-2458



1階リハビリ室前にコンビニがあります!



楽しい!!は、コロナに負けない

「子どもとの過ごし方」

新型コロナウイルスの流行時に息子の小学校が休校となった時、どういう風に子どもと過ごせばよいのかとまどいました。仕事が休みの日は自分の好きなように過ごしていましたが、息子も一緒にダラダラしてしまい、このままではマズイ!と思い、学校のように時間割を一緒に作りました。自分で作った時間割のせいか、



思ったより時間通りに宿題をするようになり、ホッとしました。家庭科の宿題があり、「家庭科の授業もできないのか・・」と寂しく感じながら、息子と一緒にほうれん草のおひたしを作りました。教科書をみながら、正しい作り方をおさらいし、息子と一緒に台所に立つのもいいな~、料理が作れる男子になってくれるのもいいな~と思いました。休校がなければこんな風に息子と料理することもなかったかと考え、子どもと長時間過ごすことも楽しむ時間になりました。学校が再開後は、以前のような状況と変わりましたが、友達と楽しそうにサッカーをしている姿をみるとうれしく思い、またハイタッチができるようになることを願います。

(看護師 清水信子)

「大好きな遠藤関」



私は、奇数月になるとワクワクします。なぜなら相撲中継があるからです。 私は、正真正銘のス一女(相撲好きの女性)なのです。黄金の左腕を持つ元 横綱輪島、兄弟で土俵を沸かせた元横綱若乃花、貴乃花、ウルフと呼ばれた 元横綱千代の富士、憎らしいほど負けなかった元横綱北の湖…好きだった力 士は沢山いますが、今は石川県出身の幕内力士遠藤の大ファンです。スピー ド出世のため、まげが結えないときから活躍し、少し下火だった大相撲の人 気に火をつけた立役者と言っても過言ではありません。

そんな遠藤が 2015 年 3 月の春場所で、勝負には勝ちましたが左ひざ前十字靭帯損傷という大怪我を負いました。土俵際で頑張った時に左ひざが曲がってはいけない方向にぐにゃと曲がりました。今思い出しても凍り付きそうなシーンです。その後の遠藤は手術を選択せず地道に治療を行い、少しずつ少しずつ回復しているようですが完治には至っていないようです。場所によって遠藤らしい動きのときと、不調だなと感じる動きのときがあり、毎回ハラハラドキドキしながらテレビの前で応援しています。怪我は、まだまだ続きます。それでも遠藤は土俵に上がります。「怪我がなければ、ここまで相撲のことを考えていなかった。」と言います。人生の中では、苦しいこともあるが、それは無駄なことではなく、前向きに考える時間でもあるんだということを遠藤に教えてもらいました。今年は、生の遠藤を両国国技館で応援したいと思っています。コロナが終息することを願うばかりです。 (事務職 焼田朝子)

新入職員紹介●



と、の。 ちづる 得能 千鶴 患者さんの想いに寄り添い、 希望に応えることができる看護を 行えるように頑張ります。 ♪趣味はライブと映画♪



和泉 秋香 毎日忙しいですが、思いやりの 心を忘れずに頑張りたいです! ★趣味は旅行★



田山 美幸 日々、覚えることが多くて、まだまだ余裕がありませんが、早くお役に立てるように精進します。 ト趣味は音楽とドラマ鑑賞♪

ご寄附ありがとう (新型コロナウイルス対策支援ほか)

- 津幡町女性会
- 一般社団法人金沢市観光協会 (株)金銀箔工芸さくだ様
- ・鳴和プラスチック株式会社様
- ・株式会社スギヨ様
- 江崎グリコ株式会社様
- 株式会社ヤクルト北陸様 (順不同)

皆様の温かいご<mark>支援に</mark> 職員一同、心より感謝申し上げます。

連携医療機関のご紹介

山崎外科胃腸科医院

津幡町字加賀爪リ20 TEL076-289-2288 診療科:外科・胃腸科・整形外科

XXX	診療時間	月	火	水	木	金	±	日
4	8:40~12:00	0	0	0	0	0	0	-
	14:00~18:00	0	0	0	_	0	_	_

●木・土は午前のみ診療

●日・祝は休診





院長先生

副院長先生



愛称は「山崎外科」

昭和58年に開業されて以来、地域に根差した医院と して、外科、胃腸科を主に診療されていますが、近年 は、町の一般健診、がん検診、特に胃内視鏡検診につ いては、河北中央病院の院長と車の両輪となり、地域 住民の健康寿命の延伸に力を注いでおられます。ま た、病診連携においても、中心となり大変ご尽力いただ いております。

院長先生、副院長先生は、ともに小児、学童期を津 幡町で過ごされ、津幡中学校のご出身でもあり、地域 の事情や医療事情にも大変精通しておられ、河北中央 病院も津幡町も院長先生を大変頼りしております。

院長先生は、「今後とも町の医療の発展のために河 北中央病院とともに貢献し続けたい。」とおっしゃってい (取材:河北中央病院広報委員/宮野) ます。

紺谷医院

かほく市木津へ 12-1 TEL076-285-0020 診療科: 内科•小児科• 整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~13:00	0	0	0	0	0	0	_
15:00~18:00	0	0	0	_	0	_	_

●木・土は午前のみ診療

●日·祝は休診





院長先生



副院長先生



陽当たりのよい広い待合室

当院では院長、副院長による内科診察に加え、毎週 木曜日に整形外科の診察を行っています。往診も積極 的に対応しており、各訪問看護ステーションとも連携し つつ在宅医療を希望される患者様、ご家族様のお手伝 いをさせていただきます。

また、河北中央病院の開放病床に参加しており、在 宅や通院で治療が難しい、辛そうで心配、といったとき には積極的に精査や入院のご協力をいただけるうえ、 退院に際しても入院中から連携することで早期退院や 適切な施設へのご紹介が可能となっています。

(副院長)

